



## お知らせ

### (1) 核データ部会

## 2012年秋の大会 核データ部会全体会合議事要録

第26回核データ部会総会

日時: 2012年9月20日(水) 12:00~13:00

場所: 広島大学 総合科学部東講義棟 K209 (I会場)



写真1 広島大学東広島キャンパス 総合科学部東講義棟入口

石橋部会長より、開会の挨拶がなされた。以下、深堀副部会長の議事進行のもとに、会合が進められた。



写真2 核データ部会全体会合での様子 石橋部会長挨拶(左)、会場の様子(右)

## 1. 部会表彰

深堀選考委員会委員長より、核データ部会賞の学術賞 2 件、奨励賞 1 件の計 3 件を選考したことが報告され、それぞれの研究者へ表彰状と副賞が贈呈された。

### ■ 学術賞：2 件

「代理反応の理論的研究」

(東京工業大学) 千葉敏、(JAEA) 岩本修、(ドゥブナ、フレロフ研究所) 有友嘉宏、  
(JAEA) 西尾勝久、(阪大 RCNP) 緒方一介、(JAEA) 橋本慎太郎

「原子炉構造体核種におけるアルファ粒子生成断面積評価手法の開発」

(JAEA) 國枝賢

### ■ 奨励賞：1 件

「PHITS イベントジェネレータのための照射損傷モデルの開発」

(JAEA) 岩元洋介



写真 2 部会賞表彰 (左から) 学術賞：千葉敏先生、学術賞：國枝賢氏 (岩元氏は欠席)

## 2. 報告事項

### 2.1 企画担当

企画担当の須山委員の代理で、深堀副部長が部会等運営委員会の報告を行った。

- ・本年度の第一回部会等運営委員会が、2012 年 8 月 28 日に電中研（東京大手町）で開催された。
- ・日本原子力学会の開催循環について、見直しの議論が進んだ。
- ・各支部にポイントを割り当てておき、大会・年会を開催したらあるポイントを差し引いていき、ポイントの残りの大きな所から開催を行う ポイント制度の導入が決定された。

- 現在決まっている大会・年会の開催地
  - 2013 年春 近畿大 (2013 年 3 月 26 日 (火) ~28 日 (木))
  - 2013 年秋 八戸工大 (2013 年 9 月 3 日 (火) ~5 日 (木))
  - 2014 年春 東京都市大 (2014 年 3 月 26 日 (水) ~28 日 (金)、関東甲信越支部)  
(2014 年春の年会から新システムで開催循環を回すことを予定)
- 第 2 区分の部会等運営委員会 WG のメンバーは、加速器ビーム部会、放射線工学、核データの順に持ち回りで担当員を選出することになっている。この一年は、核データ部会より委員を出すとのことで、須山氏が対応する。

核データ利用者支援小委員会 (核データなんでも相談室) について横山委員の代理として、中村より報告がなされた。昨年 2011 年 6 月より質問が途絶えているので、周囲の方々に利用を呼び掛けて使ってもらおうよう、お願いがあった。

堀委員より、2012 年 8 月 27 日~30 日の日程で、京都大学原子炉実験所にて開催された第 6 回四部会合同日韓サマースクールについて報告があった。実習が 5 つ設けられ、ポスターセッションでは 28 件の発表があり、優秀ポスター賞が 3 件選考された。全体で 32 名参加、日本からは 11 名参加された。参加人数が少な目になってきているとのことである。

## 2.2 編集担当

編集担当の執行委員より、web site の改定や NDD Newsletter の発行実績が報告された。Website 更新については、

- 核データ研究会
- 内規・要領
- ニュースレターアーカイブ
- 核データ何でも相談室

などを行ったこと、また NDD Newsletter 発行報告については、前回の全体会議から今回の総会 (2012 年 3 月~9 月) までに、2 件ニュースレターを発行したことが報告された。

核データニュース編集委員会の編集担当の中村委員より、核データニュースの発行実績、および次号の発行予定について報告があった。

2012 年第 101 号 (通巻第 137 号) 2012 年 2 月 2 日発行

2012 年第 102 号 (通巻第 138 号) 2012 年 6 月 19 日発行

2012 年第 103 号 (通巻第 139 号) 2012 年 10 月発行予定

また、2013 年はシグマ委員会 50 周年とのことで、巻頭に 50 周年の特集記事を検討していることが報告された。

## 2.3 会計担当

会計担当の松岡委員より、平成 24 年度会計中間報告が提出された。

## 2.4 その他

核データ研究会 中島実行委員長の代理として、実行委員会の堀委員より、2012 年核データ研究会のお知らせがあった。

原子力学会事故調査委員会について、須山委員の代理として深堀副部長より報告があった。

- 日本原子力学会として福島原発事故の調査を行うことになり、各部会より委員の選出が依頼された。千葉敏先生（東工大）と須山氏が対応することとなった。
- 核データ部会としては、炉物理部会と共同で報告書作成に寄与する見込みとのこと。
- 第一回会合（8 月 21 日）、第二回会合（9 月 4 日）、第三回会合（9 月 20 日）に開催され、第四回会合は、10 月 24 日の予定とのことである。
- 議論は、自由な発言を担保するために非公開とのことである。
- 学会事故調は独自の証拠集めは行わない方針。
- 報告書も第一次ドラフトが本年 12 月中、第二次ドラフトは 2013 年 3 月を予定しており、非常に速い対応が求められているとのことである。

## 3. 審議事項

2013 年春の年会（近大）における企画セッションについて提案を求めたが、本会合では案が出なかった。10 月末までに企画案を議論して詰めていきたいとのことである。

企画 堀委員より、2013 年春の大会 KNS-AESJ 合同セッションについて、報告があった。日本原子力学会 2 部会（炉物理、核データ部会）と韓国原子力学会の対応する部会が共同で開催している日韓合同セッションは、2013 年 3 月近畿大学で開催する予定で、日本側がホストとのことである。

## 4. その他

深堀副部長より、来年 3 月に運営委員会の改選が予定されており、学生会員とかに関係なく立候補が呼びかけられた。

シグマ特別専門委員会では、核データの将来を考える WG が発足し、東工大 千葉先生がリーダーとしてご尽力される。また、核データ測定戦略 WG が発足し、実験のネットワーク作りを行っていくとのことである。

以上  
編集委員 中村詔司